

愛知県立
千種聾学校本校版
校だより

「学校は安心して冒険するところ」

校長 荒木 紫野舞

「子どもたちに身に付けてほしい力とは何だろうか」と考えていたら、ふと、昔やった「ドラゴンクエスト」というゲームが頭に浮かびました。自分の足で歩き、仲間を増やす。途中、様々な人と出会い、必要な情報やアイテムを獲得していく。失敗もあるけれども、繰り返しチャレンジして、経験値を上げて困難に向かい目標に向かっていく。このようなゲームだったと思います。今の子どもたちに求められる力に言い換えると、「自ら主体的に行動し、いろいろな人の考えに触れ、コミュニケーションを取りながら仲間を作り、協力して経験を積み成長する」となるのではないのでしょうか。私たち教員は、率先して前を歩くのではなく、子どもたちの姿をよく見て、求められた時に情報を与え寄り添い、子どもたちが必要とする情報やアイテム（知識）を提供し、目標へそと導く役割だと考えます。

この四月にひがしうら校舎も含め千種聾学校に入学した幼稚部十三名、小学部十四名、転入生一名を含め、総勢九十八名の子どもたち一人一人が主役となって、それぞれの足でしっかりと学びを深めることを願っています。

保護者の皆様には、日ごろより学校へのご理解、ご協力に深く感謝しております。職員一同、子どもたちが安心して新たな冒険（学び）ができる環境づくりに努力し、保護者の皆様とともに、子どもたちの成長を支えていきたいと願っております。

「成長する喜び」

幼稚部主事 福永 鮎美

幼稚部の教室や廊下には、様々な生き物がいます。子どもたちはそんな生き物たちに興味津々。怖がる子もいますが、見たり触れたりしながら、えさやり、掃除なども積極的に行ってくれます。卵から育てたアゲハ蝶は、蝶に変身するまで毎日見守り、さなぎから蝶になる瞬間に立ち会えたときには大歓声！喜びいっぱい報告してくれました。子どもたちの成長も同様、日々見守りながらたくさんの方々の成長を保護者の方々と共有できる一年にしたいと思います。

「子どもが光る毎日に」

小学部主事 山本 浩子



多くのご声援をいただいた運動会。前日ぎりぎりまで天候の心配をしながら、子ども達も準備をしてくれました。足跡のついたグラウンドを見た高学年の子達が「僕達、あれをやります！これじゃ運動会困る」とグラウンド整備の道具を動かす身振り。教員が何となくやってしまうことで、活躍できる場を奪っていたかもしれないと、目から鱗でした。「子どもができること、やるうとすることは任せてみよう」子供がどんどん活躍する集団に、と思いを新たにしました。

「幼稚部に入学して」

三歳児 保護者

入学から、あつという間の数か月が過ぎ子ども達も親もやっと新たな生活に慣れてきました。それと同時にすごい勢いで成長を遂げる子ども達。自ら挑戦し「違う」「できない」と怒ってみたりしていた事が、あら簡単にできる様になっていたり。家でいつも以上に甘えん坊だと思って先生に聞くと本当？と思うくらい学校で頑張っていたり。そんな話をママさんたちと共有し共に子育ての喜びや大変さを共感し合えることに感謝の限りです。

「小学部に入学して」

一年生 保護者



入学当初は新しい環境に緊張していた様子でしたが、日ごとに成長し、小学生らしい頼もしさもでてきました。嬉しい反面、親離れの寂しさもあります。様々なことを学び、楽しそうに通う息子の姿は親の励みになります。こうして安心して通うことができるのも、丁寧にご指導くださる先生方、優しいお友達や保護者の皆様のおかげだと思っております。今後も息子が自信をもって自分らしく過ごせるように支えていきたいです。

3歳児の紹介

みんな げんきいっぱいです



ちゅーりっぷ ぐみ



たんぽぽ ぐみ

がっこうで すきな じかんは…

おながく

せいかつ

たいく

たいく

たいく

こくご と
さんすう

1年生の紹介



「ごりら」
5歳児

「わたしがすきな犬」 三年生児童



「にじ」
ひまわり5年生児童

「うんどう会」

二年生 児童

わたしは、うんどう会でしようがいぶつりレーとたんきよりそうに出ました。

しようがいぶつりレーで、じゅんばんをまわっているときに、わたしはわたりろうかを見て、わたしのいもうとが手づくりのはたでおうえんしていたので、「がんばる」と、思いました。

しようがいぶつりレーでは、さいしょにハードルをくぐって、つぎにハードルをとんで、へいきんだいをわたって、フーフーフをくぐったあと、コーンをまわって、ゴールでつぎのともだちとかわりました。わたしは、「足がはやくなつたな」と、思いました。

たんきよりそうでは、さいしょに、「はやくはしるのをがんばるぞ」と、思いました。

てっぼうの音とけむりを見て、スタートをしました。一ばんになりたいから、はやくはしったら、一ばんになりました。一年生のときは一ばんではなかったけど、二年生では一ばんになれてうれしかったです。

「短きより走」

四年生 児童

五月三十一日、運動会がありました。短きより走は、A君と、3年生のBさんと、Cさんで走りました。私は、一位になれるか心配でどきどきしていました。名前を呼ばれるとき、どきどきしながら気合を入れて大きな声で返事をしました。スタートの合図で走りました。「はあ、はあ」自分の息づかいが聞こえました。走り終わったら四位でした。私は、とてもくやしかったけど、あきらめらずに一生けんめい走りました。がんばりました。

運動会が終わった後、お母さんが「短きより走は四位だったけど、一等賞だったね」と言ってくれました。私のがんばりを一等賞という言葉で言ってくれたんだと思いました。私は、その言葉がとてもうれしかったです。来年は、ぜったいに短きより走で一位をめざしたいと思います。がんばります。エイエイオー！

《異動のお知らせ》

【本校】

〔退職〕

森島 英子
久保 勝司

山岸 裕美
笠木 温美

臨時の任用教諭

臨時の任用養護教諭

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

非常勤講師

【ひがしうら校舎】

〔転出〕

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任

主任



〔臨時の任用等〕
臨時の任用教諭
臨時の任用講師
介護業務員

石川 香
板倉 尚美
榊原 愛

〔新規採用〕
教諭

中川 歩奈
杉浦 美空

〔転入〕
主任主査

黒野 隆之

柳原 崇央



愛知県立千種聾学校
学校 だより
ひがしうら版

「大きく育つ」

幼稚部主事 平澤 由紀子

新入生七名を迎え、幼稚部十八名でスタートしました。新入生を迎えた四、五歳児が、ちよつとお兄さん、お姉さんになり、新入生を優しく見守る眼差しがとても温かく、愛おしく思います。ある子が「あのね、大きくなったよ」と話し掛けてくれたので、「何が大きくなったの」と尋ねると、「えっと…全部!」と答えが返ってきました。全部大きくなったという実感をもって生活ができるとも素敵なことです。皆がそれぞれ力を発揮し、大きく育つよう、職員一同見守っていききたいと思っています。

「はばたけ! ひがしうらっ!」

小学部主事 檜垣 栄慈

昨年度との違いは「児童数が八名から十七名になったこと」「すべての学年に児童が在籍することになったこと」「スクールバスが二台運行となり、十四名の児童がバス利用となったこと」の三つです。ひがしうら校舎は、長時間通学を解消するため令和五年四月に県立東浦高校の敷地内に開設されました。知多地区唯一の聾学校として、地域社会との連携を通じて児童が成長できるように支援していきます。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「幼稚部に入学して」

三歳児 保護者

四月からの進路に悩み迎えた入学式、たくさんのお友達の笑顔に安心しました。日に日におしゃべりや手話、表情での表現が増え、子どもの成長に驚いています。お友達の名前も覚えて、楽しそうにお話している様子を見るとうれしくなります。一年後のさらに成長した姿を楽しみに、子どもたちの頑張りを近くで見守っていききたいと思っています。

「小学部に入学して」

一年生 保護者

この二年間、幼稚部に通わせていただき、先生方の温かく丁寧な指導のおかげで大きく成長することができました。その様子から小学部でも大きな不安なく通うことができていると感じております。しっかりと学び、成長していく姿を日々楽しみにしています。

幼稚部の先生方には、改めて心より感謝申し上げます。小学部の先生方、今後ともどうぞよろしく願っています。

ようちぶ 3さい 「うんどうかい がんばったよ!」



小学部 1年生 「べんきょう うんどう がんばってるよ!」



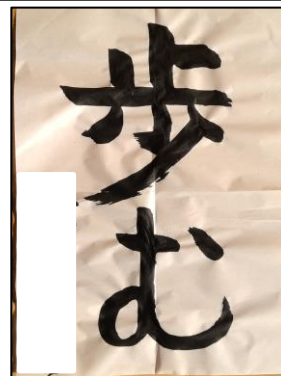
「ジャガーがボールであそんでいてびっくりしたよ」

5歳児



「楽しい へいきん台」

2年生児童



ひがしうらっ!
ギャラリ—

「歩む」

6年生児童